

(別添3)

【八重瀬町】 校務DX計画

校務DX計画において、国のGIGAスクール構想にて導入された端末の「標準仕様のツール」を活用した校務DXを推進、取り組んでいく。また、次世代校務支援システムについては、沖縄県教育委員会と連携して県域での導入に向けてさらなる連携を図っていく。

GIGAスクール構想で導入された1人1台端末の標準仕様のツールについて、クラウドの活用が前提となっている。また、「校務DXチェックリスト」の項目では、標準仕様のツールで実践可能な内容となっており、日々の校務改善に「標準仕様のツール」をフル活用していき、教員の働き方改革やペーパーレス化にもつなげていく。

1. コミュニケーションツールの活用

クラウドを前提としたチャットなどの利用で、校内の情報共有が簡易となり、クラウド活用のため非同期・分散で自分のタイミングで確認・返信、編集等が可能になる。例としては、校内での事務連絡等や個別の連絡にチャットを有効活用することで、即時共有が可能となる。これまで職員室に戻り連絡を確認するといった業務も縮小されていく。また、チャット上で共有した資料やリンクはチャットスペース上に保存され、後日、確認・編集等が可能となり、先生方の作業する時間も自己のタイミングで調整可能となり、業務時間の削減に繋がる。

2. クラウドツールの活用

チャット同様、標準仕様のクラウドツールを校務での利活用を促進する。例えば、表計算ソフト等での校務の進捗状況を把握、共同編集機能で、勤務の動態表等の作成、その他には、学校評価、学校内でのアンケートフォームの活用、カレンダー機能を活用した行事の共有等についても標準仕様のツールを活用することで、ペーパーレス化の促進及び校内での確認・共有が容易となり、業務削減等にもつながる。また、ホームページ作成ツール等も活用し、学校のホームページ、校内研のサイト、各種委員会のサイトなど、一元化したサイト等を構築、利活用し、情報共有を簡便にすることができる。

3. 校務DXチェックリスト

校務DXチェックリストの項目は、標準仕様のクラウドツールで十分対応可能となっており、クラウドツールの校務での利活用の促進を図るための教育委員会の研修や校内研と連携した研修の充実を図っていく。

4. 校務の授業の研修（校務と授業と研修が相似形になる利活用を促進）

導入されている標準仕様のクラウドツールを校務での活用をはじめ、研修でも利活用を促進し、そのノウハウを授業に活かすことが求められている。標準仕様のクラウドツールを校務、授業、研修など教育現場のあらゆる場面でも使えるよう実践を深めていく。

5. 校務での生成AIの利活用について

校務での生成AIの利活用については県の利活用や国の方針を確認、検証した上で本町としての取り組みを図っていく。

6. 次世代校務支援システムの導入に向けて

沖縄県教育委員会と連携し、次世代校務支援システムの導入に向けての検証など、連携を図り、校務DXの推進を図っていく。